

授業科目名 (英訳)	哲学の目的と方法 End and Method of Philosophy					担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 教授・藤田 正勝				
配当学年	1 回生	単位数	2	開講年度 開 講 期	H27 前期	曜 時 限	火/3	授業形態	講義	使用言語	日本語
<b>〔授業の概要・目的〕</b>											
<p>哲学とは何か、何をめざす学問か、その方法とは何か、等々の問題をめぐって考察する。哲学は自己のなかに閉じた反省ではなく、むしろ対話であり、対話を通して哲学の創造的な発展が可能になることを明らかにしたい。また、それが採るべき方法について、懐疑、直観と分析というキーワードを手がかりに考察を加える。以上の考察を踏まえて、論理的・批判的思考力や発見的・複眼的思考力、レトリックを駆使した表現力など、大学院での自立した研究の基礎となる思考力や表現力を養うことをめざす。</p>											
<b>〔到達目標〕</b>											
<p>哲学とは何をめざす学問なのか、論理的に考えるとはどういうことか、等々について考えることを通して、批判的かつ創造的に思考する能力を身につける。</p>											
<b>〔授業計画と内容〕</b>											
【第1回】 イントロダクション											
【第2～3回】 哲学が目ざすもの——「対話」としての哲学											
【第4～5回】 哲学が目ざすもの——ドクサ（臆見）とイドラ（虚像）の克服											
【第6～7回】 哲学の方法——懐疑、直観と分析											
【第8回】 論理的・批判的思考											
【第9回】 発見的・複眼的思考											
【第10回】 言語的な知／非言語的な知											
【第11回】 ロゴスとパトス、知と身体											
【第12回】 構想力と論理											
【第13～14回】 レトリックと創造的思考											
【第15回】 まとめ											
<b>〔履修要件〕</b>											
特になし											
<b>〔成績評価の方法・観点及び達成度〕</b>											
講義時の討議内容、課題発表、レポートなどにより到達目標を達成しているかどうかを判定し、評価する。											
<b>〔教科書〕</b>											
特になし											
<b>〔参考書等〕</b>											
講義時に適宜紹介する。											
<b>〔授業外学習（予習・復習）等〕</b>											
総合生存学館で用意されている事前学習の教材（e-Learning 教材）を予め見ておくこと。											
<b>〔その他（オフィスアワー等）〕</b>											
fujita.masakatsu.4a@kyoto-u.ac.jp											